

〈本体商品の取付情報〉

年式	型式	車種	取付商品のサイズ	本体の取付方法				オプション ※商品別の対応状況等の詳細については、必ず取扱・取付説明書や弊社カタログ、ホームページ等でご確認ください。 ※表示価格は希望小売価格(税別)です。
				取付キット類			注意事項	
				純正部品手配	型番	主な付属品		
H26/12~H29/6	DAA-NHP10	ワイド2D窓口付車 (オーディオレス) 注1	8型	KLS-Y807D <sup>Ⓚ</sup>	注3	20,000円	注3,5,6	純正バックカメラ接続アダプター(注15) ●KK-Y301BA <sup>Ⓚ</sup> 5,500円  純正バックカメラコネクタ変換ケーブル(注15) ●RD-Y101BC 3,000円 ●RD-Y201BC 3,000円
			8型	KLS-Y804D <sup>Ⓚ</sup>	注4	20,000円	注4,5,6,7	
		W2D	RD-Y102DK	注8	5,000円	注5,9,19		
		2D	KK-Y60DE <sup>Ⓚ</sup>	注10	4,000円	注11,12,13		
		×	取付不可					

- (注1) グレードにより車両クラスターパネルの形状が異なるため、8V型カーナビゲーションを取付ける場合は、必ず注3、注7ならびに取付ける車両を良くご確認の上、車両に合った取付キットを選択する必要があります。
- (注2) ディーラーオプションのT-Connectナビ9インチモデル付車は取付不可(窓口が異形の専用クラスターを使用しています)。なお、元々装着されていた標準仕様に戻すことができれば取付可能になります(その場合の取付内容については、上段のワイド2D窓口付車の項を参照してください)。
- (注3) H26/12のマイナーチェンジ時に車両クラスターパネルの形状が変更された車両に8V型カーナビゲーションを取付ける場合は、KLS-Y807D<sup>Ⓚ</sup>を使用します(なお、車両クラスターパネルの基本形状が変更されていないLグレード、「G's」については必ず注7をご確認ください)。KLS-Y807D<sup>Ⓚ</sup>は8V型カーナビゲーションを取付けるための車種専用の取付キットです。専用パネル(黒系シボ入り/ピアノブラックの2トーン)、専用ブラケットの他、ダイレクト接続コネクタ(10P/6P/5P)、アンテナ変換コネクタ(HFC)、ステアリングリモコンケーブル(28P)、ネジ類等が同梱されています。なお、取付けの際には車両側の一部加工が必要となります(詳細は取付キットの取付説明書をご参照ください)。
- (注4) KLS-Y804D<sup>Ⓚ</sup>は8V型カーナビゲーションを取付けるための車種専用の取付キットです。専用パネル(黒系シボ入り)、専用ブラケットの他、ダイレクト接続コネクタ(10P/6P/5P)、アンテナ変換コネクタ(HFC)、ステアリングリモコンケーブル(28P)、ネジ類等が同梱されています。なお、取付けの際には車両側の一部加工が必要となります(詳細は取付キットの取付説明書をご参照ください)。
- (注5) オーディオ取付部裏のステアリングリモコン用配線が28Pコネクタ仕様の場合に、純正ステアリングリモコンの利用が可能になります。
- (注6) ドライバーの視点によっては、エアコンパネルの上部が見えにくくなる場合があります。同梱パネル下部にはエアコン操作を妨げないための切欠きを設けております。
- (注7) H26/12のマイナーチェンジ以降車でもLグレードは車両クラスターパネルの基本形状が変更されていないため、8V型カーナビゲーションを取付ける場合はKLS-Y804D<sup>Ⓚ</sup>を使用します(スポーツカーブランドの「G's」は適合情報対象外ですが、H26/12マイナーチェンジ時の「G」をベースグレードとしたG「G's」の車両クラスターパネル形状は、Lグレードのものと同形状です。そのためKLS-Y804D<sup>Ⓚ</sup>同梱パネル自体の取付けは可能ですが、塗装等は異なります)。
- (注8) RD-Y102DKにはダイレクト接続コネクタ(10P/6P/5P)、アンテナ変換コネクタ(HFC)、ステアリングリモコンケーブル(28P)が同梱されています。
- (注9) 電源ケーブル、ステアリングリモコンケーブルを同梱しているモデル(AVIC-RW910/RW710)の場合、取付キットKJ-Y15P<sup>Ⓜ</sup>(希望小売価格3,500円、税別)も使用可能です。但し、ステアリングリモコンケーブルの接続には配線加工が必要です。なお、RD-Y102DKには配線加工せずに接続可能なステアリングリモコンケーブル(28P)が同梱されています。
- (注10) KK-Y60DE<sup>Ⓚ</sup>には窓口左右の隙間を埋めるパネル(L、R)、配線コネクタ(10P/6P)、車速信号他を取出すためのコネクタ(5P)、アンテナ変換コネクタ(HFC)等が同梱されています。
- (注11) 1D+1D取付けをする場合は、純正ブラケット(L/R)に下段取付け用の穴あけ加工が各1ヶ所必要となります。
- (注12) ワイド2D窓口車用パネルを同梱しているFH-4400/3100の場合、取付キットKJ-Y15P<sup>Ⓜ</sup>(希望小売価格3,500円、税別)を使用して取付けることも可能です。
- (注13) KK-Y56DE<sup>Ⓚ</sup>(希望小売価格4,000円、税別)も使用可能です(但し、KK-Y56DE<sup>Ⓚ</sup>は品薄につき、在庫切れになる場合があります)。
- (注14) 純正ステアリングリモコン付車の場合、純正ステアリングリモコンにはそのままでは接続できません。オーディオ取付部裏のステアリングリモコン用配線が28Pコネクタ仕様の場合に、別売のステアリングリモコンアダプターKK-Y202ST<sup>Ⓚ</sup>(希望小売価格8,000円、税別)、またはステアリングリモコンケーブルKJ-Y102SC<sup>Ⓜ</sup>(希望小売価格2,000円、税別)を使用すれば車両側配線との接続は可能です。なお、ステアリングリモコンケーブルを同梱しているモデル(AVIC-RZ910/RZ710)の場合は、その同梱ケーブルを配線加工しての接続も可能です。但し、取付ける商品によって使用する別売オプションや使用可否が異なりますので、詳細については必ず取扱・取付説明書や「純正ステアリングリモコン適合情報」等でご確認ください。
- (注15) メーカーオプションのナビレディパッケージ付車の場合、純正バックカメラ配線にはそのままでは接続できません。別売の純正バックカメラ接続アダプターKK-Y301BA<sup>Ⓚ</sup>(希望小売価格5,500円、税別)ではRCA端子で、別売の純正バックカメラコネクタ変換ケーブルRD-Y101BC(希望小売価格3,000円、税別)ではサイバーナビの2018年/2017年/2016年モデル(AVIC-CL902/CW902/CZ902等)に接続できる端子形状で、RD-Y201BC(希望小売価格3,000円、税別)では楽ナビの2019年モデル(AVIC-RL910/RW910/RZ910等)に接続できる端子形状で、純正バックカメラの映像を出力することが可能となります。
- (注19) ダイレクト接続コネクタ類を同梱しているモデル(AVIC-ZH0999WS/ZH0999W/ZH0777W/ZH0099WH/ZH0099WS/ZH0099W/ZH0077W/RW09/RW03/MRZ099W)の場合、RD-Y102DKは不要ですが、純正ステアリングリモコンを利用したい場合は、別途KJ-Y102SC<sup>Ⓜ</sup>(希望小売価格2,000円、税別)の購入が必要となります。

〔取付キット類の主な付属品の記号〕

	ダイレクト接続コネクタ		アンテナ変換コネクタ(HFC)
	配線コネクタ (3電源、フロントスピーカー、リアスピーカー)		アンテナ変換コネクタ(GT)
	配線コネクタ (3電源、フロントスピーカー)		アンテナ変換コネクタ(CE)
	専用パネル、または窓口左右の隙間を埋めるパネル		ステアリングリモコンケーブル、またはステアリングリモコン用ミニプラグ

〔オプションの記号〕

	オプション欄にこの記号がある場合は、別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。
--	---

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報(PDF)の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	カスタムフィット										注記 B	ボックスタイプ				ユニットタイプ				サテライト																	
			TS-V173S	TS-C1730S C1730	TS-F1740S F1740	TS-C1630S C1630 F1640S F1640	TS-F1040S F1040								TS-X480G	TS-X180	TS-A6970F	TS-A1670F	TS-A1370F	TS-G1010F		TS-STH1100S	TS-STH700	TS-STX510															
5HB	Fドア	①	×	×	◇②③	×	×																																
	キット使用	④	✳	□③		□③																																	
	インナーバッフル	⑥	✳	回⑦	回⑦	回⑦																																	
	Rドア	①⑩	×	×	◇②	×																																	
	キット使用	④⑩	✳	□		□																																	
	インナーバッフル	⑥⑩	✳	回	回	回																																	

注記  
 ※H26/12~H29/6車のフロントドア/リアドアには、インナーバッフルUD-K611（希望小売価格10,000円、税別、2個1組）を使用して「TS-Z172PRS/TS-Z132PRS（スペーサー使用）」の取付けが可能です（注⑫参照）。  
 ※H26/12~H29/6車のスペアタイヤ付車（標準またはメーカーオプション）の場合は、スペアタイヤ部に「TS-WX610A」の取付けが可能です（注⑬参照）。  
 ① 純正スピーカーはリベット止めで、取付穴ピッチが変則のスピーカーです。  
 ② スピーカーに付属の樹脂ブラケットを使用して取付けます。純正スピーカーを外す場合は、リベット止めを外す必要があります。  
 ③ 純正トウイーター付車は、純正トウイーターを外すと16cmスピーカー部には信号が流れません。従って、純正トウイーターを使用しない場合には、TS-C1730S・C1730・F1740S・F1740はトウイーター用配線の4Pコネクタ部に、スピーカーに付属のジャンパーコネクタを接続する必要がありますが、その他のスピーカーではトウイーター用配線の4Pコネクタ部に接続する延長配線加工が必要になります。  
 ④ カースピーカー取付キットUD-K121（希望小売価格3,000円、税別、2個1組）使用可。純正スピーカーを外す場合は、リベット止めを外す必要があります。  
 ⑤ リアピラートリムの後方寄りにはトリムの取付強度が弱いため取付不可で、前方寄りにはヘッドレストに当たるため取付不可。  
 ⑥ インナーバッフルUD-K611（希望小売価格10,000円、税別、2個1組）/UD-K521（希望小売価格3,500円、税別、2個1組）使用可。純正スピーカーを外す場合は、リベット止めを外す必要があります。  
 ⑦ 純正トウイーター付車は、純正トウイーターを外すと16cmスピーカー部には信号が流れません。従って、車両側スピーカー用配線を使用する場合で、純正トウイーターを使用しない場合には、TS-C1730S・C1730・F1740S・F1740はトウイーター用配線の4Pコネクタ部に、スピーカーに付属のジャンパーコネクタを接続する必要がありますが、その他のスピーカーではトウイーター用配線の4Pコネクタ部に接続する延長配線加工が必要になります。  
 ⑧ メーカーオプションのSRSカーテンシールドエアバッグ付車を除く（上向き取付時はエアバッグの作動範囲にかかると取付不可で、後向き取付時の可否については未調査で不明です）。  
 ⑨ リアピラートリムの後席中央用のシートベルトの前方位置に取付可で、スピーカー本体を上向き（但し、後方に少し傾ける）または後向きにして取付けます（右側への取付けの場合で、左側は対称位置に同様の方向で取付けます）。なお、水平取付けではヘッドレストに当たるため取付不可で、リアピラートリムの後方寄りにはトリムの取付強度が弱いため取付不可となります。  
 ⑩ 純正スピーカー付車の場合に可（純正スピーカーなし車は、車両にリアスピーカー用の配線がないため取付不可）。  
 ⑪ リアピラートリムの後方寄りにはトリムの取付強度が弱いため取付不可で（右側への取付けでは後席中央用のシートベルトにも当たります）、前方寄りにはルーフトリムに当たるため取付不可（ヘッドクリアランスも不可で、右側への取付けでは後席中央用のシートベルトにも当たります）。  
 ⑫ フロントドアへのTS-Z172PRSの取付けは、トリムのグリル部裏側の円形リブ等に、スピーカー取付ネジ頭やスピーカーフレーム等が僅かに当たる取付けになります。但し、車両によって強く当たる場合は、当たる部分の切取加工が必要です。  
 ⑬ 標準またはメーカーオプションのスペアタイヤ付車の場合に取付可で、フロアボードが僅かに浮いた状態での取付けになります。取付けに使用する付属品：①、③、④、⑤×3、⑥、⑪、⑬、⑭、⑮、⑰~⑲。

〔カスタムフィットスピーカーの記号〕

◎	取付可（スピーカーに付属のコネクタ使用）	⊕	取付可（別売の配線コードでの配線が必要）
◇	取付可（スピーカーに付属のブラケット等使用）	✳	取付可（別売の「スピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
□	取付可（別売の「スピーカー取付キット」使用）	✳	取付可（別売の「インナーバッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
回	取付可（別売の「インナーバッフル」使用）	×	取付不可
⊙	取付可（配線加工が必要）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
◆	取付可（スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要）		

〔ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号〕

◎	取付可	▲	取付可（別売の「スペーサー」使用で、鉄板加工が必要）
●	取付可（鉄板加工が必要）	×	取付不可
△	取付可（別売の「スペーサー」使用）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

〔サテライトスピーカーの記号〕

○	取付可	(×)	取付不可（サードシート未使用時に限り取付可）
		×	取付不可
△	条件付きで取付可（注記参照）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報(PDF)の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。